



八 彙

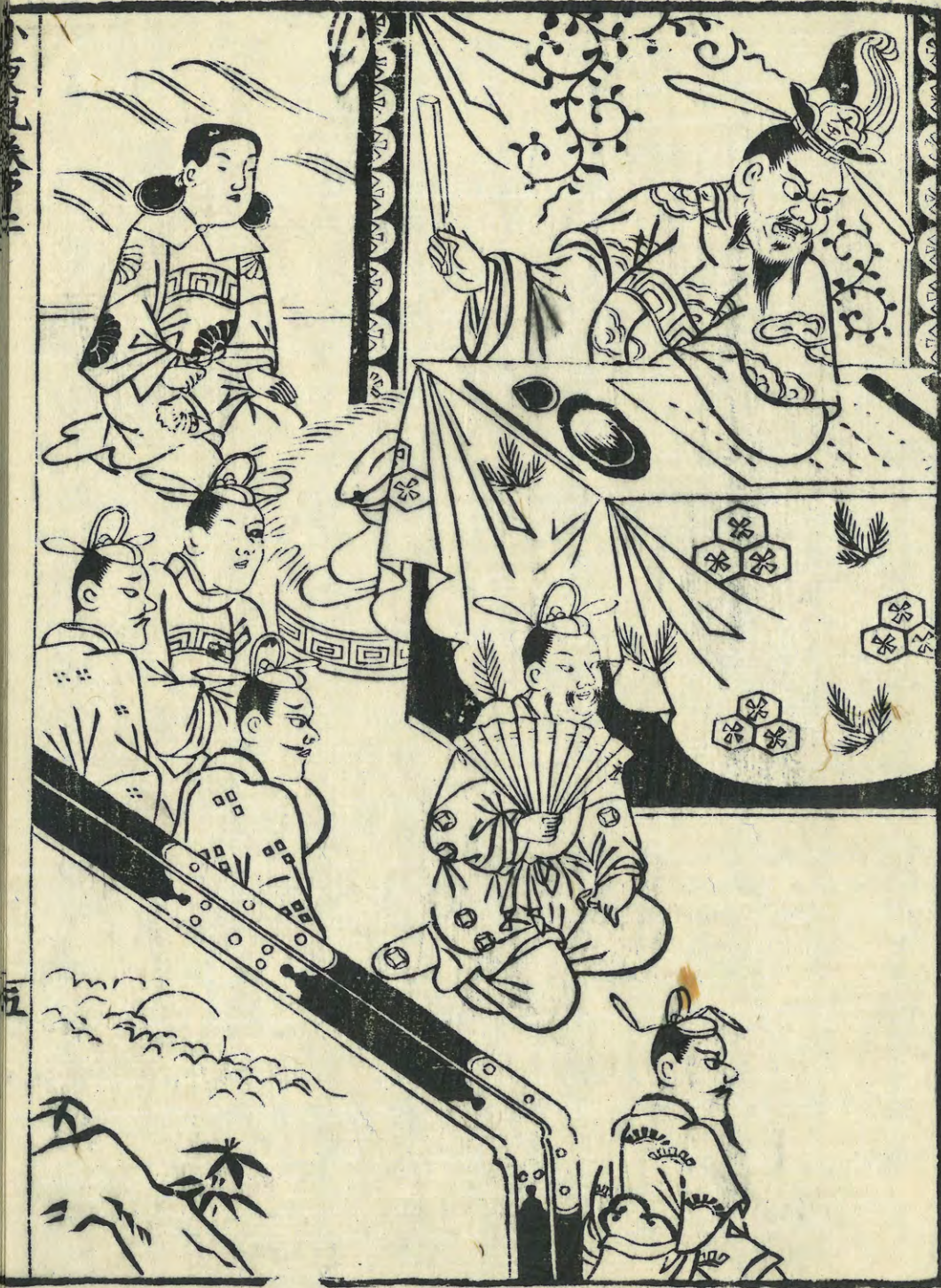
小  
長  
茂  
物  
譜  
二



善よ何れども。教の二子八百廻の新年忌高湊  
日も近くれし。御遊善の事い度々大善根成  
り。有りし。御書と志してしけり。佛の  
御心よ叶きまつるべし。とものくいなや  
のあり。法王勅宣承す。尤も善根  
し。共く。善せの。我も。と。似合相意の志ん  
よ。け。中。の。我。と。の。此。事。と。な。く。た。る。を。な。し。中。  
先。野。山。の。穀。物。を。界。中。に。ま。せ。か。さ。り。な。る。心。を。な。し。  
や。河。海。の。鱗。と。か。ざ。り。す。浦。の。河。迄。禁。商。高  
れ。と。ま。ら。る。べ。し。や。ん。と。う。り。く。さ。ぬ。く。後  
善。と。な。り。又。道。徳。備。王。の。元。来。慈。悲。少。く。情。を

王。の。け。る。が。き。と。も。い。づ。く。と。せ。あ。お。そ。れ。ぐ。な。し。と。  
非常大救。増。の。大。善。根。と。い。ふ。も。い。づ。く。と。あ。  
か。い。び。の。多。劫。地。獄。の。ほ。ろ。を。し。く。長。劫。の。水。火。の  
責。と。う。く。心。を。罪。人。を。成。と。く。い。り。ま。な。く。と。せ。せ  
られ。く。己。が。他。の。罪。業。と。ハ。ド。み。づ。く。目。も。あ。れ  
ど。い。の。わ。ら。い。と。も。と。幾。回。こ。か。ら。し。と。目。救。と。う  
ふ。り。の。御。心。を。免。と。ま。さ。か。の。御。善。根。の。い。度。を。ま。あ  
し。ま。う。く。御。心。か。づ。く。と。ま。り。と。大。王。の。い。み。も  
と。お。ほ。く。し。し。輪。王。の。ご。ん。ぞ。く。と。不。祥。物。な。り  
九。を。ご。お。り。な。り。と。勅。を。た。ま。さ。す。法。王。も。い。首。を  
る。べ。し。と。同。し。四。ノ。わ。ら。い。大。王。の。ご。ん。の。い。ひ。の。い









とついでに。忘乃。蛇。交。然。なりし。二。鬼。人。鬼。皆  
 佛の子なりし。親の悪とわとれんや。仏。前。生。乃。慈  
 照の事。大。集。後。よ。回。戒。山。中。は。獅子と猿也  
 たり。ら。う。た。友。と。あ。り。な。り。い。さ。ゆ。は。二。の。子。り。や  
 獅子。あ。わ。づ。あ。く。さ。か。化。り。さ。り。獅子。が。福。あ  
 る。よ。執。来。て。び。さ。る。れ。子。は。本。来。の。行。と。獅  
 子。福。あ。り。さ。あ。く。さ。か。ま。て。ら。あ。り。と。對。獅子  
 執。よ。さ。い。し。て。り。る。も。あ。く。獸。の。ま。り。海。い。鳥  
 へ。王。さ。ら。し。威。勢。是。同。じ。と。猿。乃。子。代。之。せ。と。云  
 け。と。ぞ。我。と。ぞ。よ。親。よ。の。ぞ。じ。し。か。え。ん。だ。る。べ  
 と。つ。ふ。ま。時。獅子。凡。と。く。我。親。の。肉。と。捨。れ。り。て







天竺山あり其地あり戸施林大唐ありと北  
 耶二時日本ありハ山城の國鳥羽野にせ  
 人乃猿立を交り。安婆の繩既けて空離  
 此灯がく消一の息して目あつてらるる圍り  
 ありひく。藁子養馬あまこりまは体さるる七珠  
 寶を流よんとして益をかり。者小志さぶ物也  
 二ハ眼光業魂幽精傳魂相冥現魂六之乃魂と潤よ  
 尸介々の。教百由勝那の冥途と命と死出入  
 心のも公若堂よ。悉そいしらまき又ぶよのが心。油さ  
 かし〜筆けり〜と〜あり〜ら〜る〜る〜る〜る  
 よたわじ。まご教考たつぬよ。身は〜〜〜〜〜  
 かし〜

こあしよ〜とひ〜れ〜よ〜ぬ〜る。嶮坂よ杖と地  
 路石よ鞋さ〜れ〜り〜る。わじ是はら〜り〜る。神ハ  
 くれかいの洞よまび〜る。昔菅菰相を考よ〜る。表家  
 中有と西漢あ〜と〜と〜。死か〜と〜と〜ひなま  
 よ。古杖老松天よおひひ。若忠星砂地と包。ゆい  
 ころわ〜ん〜このまひ〜。け菅巫相と〜院ハ人長  
 時平公ハ流云に〜も。延表三の二月九入の筑前  
 出へた遷せ〜れぬまひ。九月十二夜八月と身古  
 と思ふ。才と秋作あ〜時よ白  
 昔被采花簪組縛。今為殿禱草菜因  
 月光似鏡無明罪。風氣如刀不破愁



遊見随園皆惨慄 此秋獨作我秋

或付丞相後唐志すまひ。恒山玉筆和尚の夏中  
 よ由ききむひ。多々極くは相済むありて。玉筆  
 和尚是く。誰人あそくはるごとく。くらのぬまへん  
 丞相

唐衣おりてきこのの袂ぞこけ

袖よららる梅あそくざり

玉筆和尚。一白とさびらりあひ。瑞朝ある。し  
 と後唐の天祥とす。そくは。菅終は。筑前。の  
 板本あそく。御遊去あり。と。洛陽。の。宮。作。  
 天衣。自在。天神。と。祝。を。り。と。後。玄。の。罪。あ。さ。り

よのあぢた乃時平公ハ地獄よあづき者も奈落よ  
盛豆内くまきも成日荒上人地獄少く目つくと  
まろ心者御製

よなうくく奈落乃座よ入物事ハ  
せつしとあぢとあぢとあぢと

上人者て尺をもくくま。とあよ者も十若者市  
王のいがさ。飛科のぐれ。由らび況や下劣負賤  
くあつくとや。黄泉中より後と強く。飛人御く  
うらがいわらう。坂本ハ才一奈落王の館よ玉座。  
庭中よ入ニヤ。いれど。いれ玉札よ金紙の帳とく  
そのらげ。飛科の軽重と効ぐ。く。奪魂鬼奪精

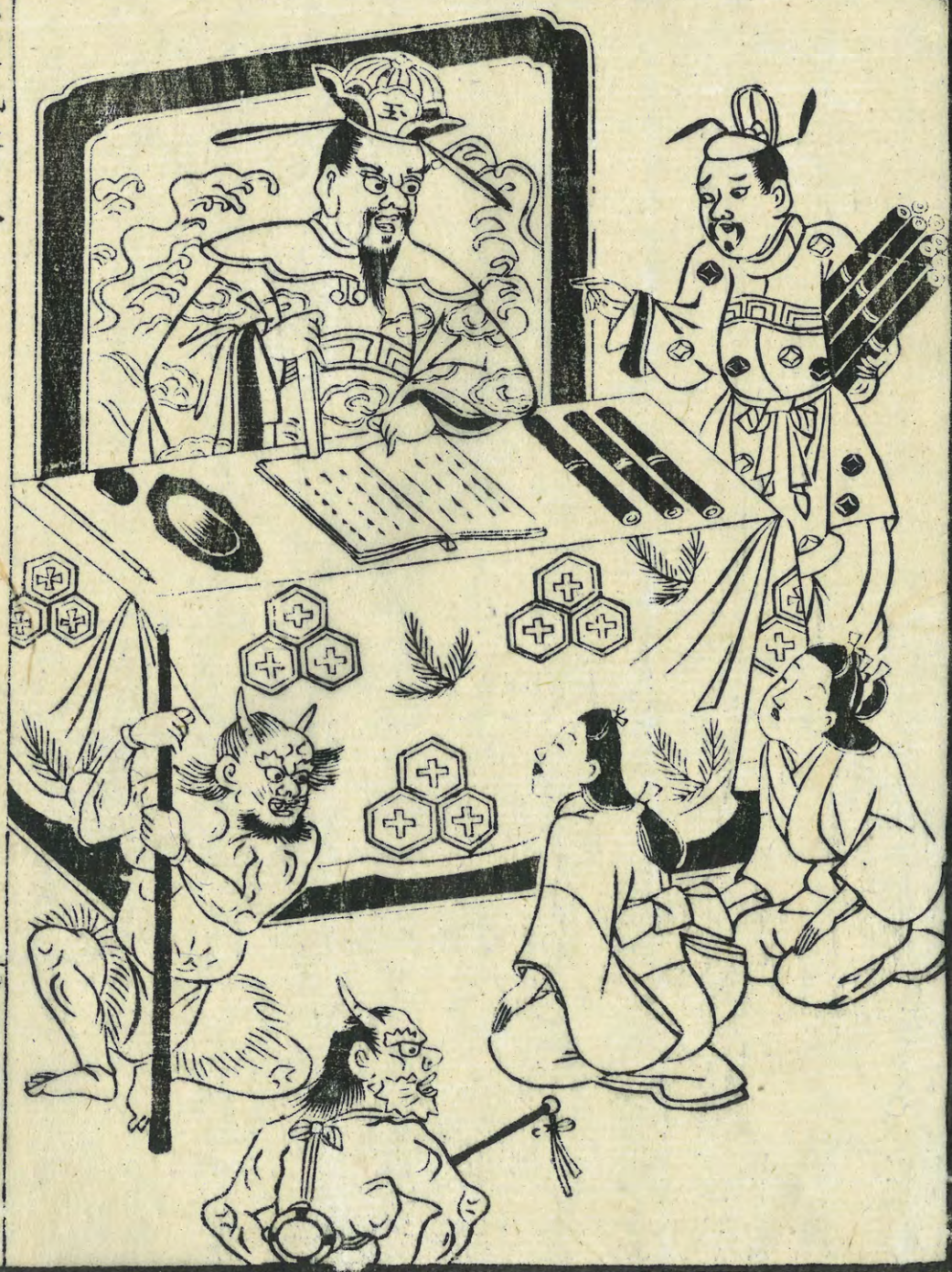
鬼傳魄鬼ならんど云異形の鬼たうけらう。男女  
乃あともわなび。苛責と心不れ中よ弓糸。又舞よ  
南く失ぬる飛人よ。鎖の恨よけり。さ合く。鉄の  
く。遊のぐひ。山乃頂と云。表連貫。浪河と云。こ  
さ。霧。霧乃。多朝夕あり。白霧。霧とは。こ。白  
く。星乃。灯電乃。火。火。うら。響。響乃。鳥。ひ。ら  
来て。菊と。あ。心。叫喚の。奴。ハ。僅。よ。蚊  
此の。と。く。廣。王。亡。人。よ。若。く。回。表。成。れ。と。く。こ。う  
い。成。吊。く。も。小。須。よ。回

汝去過死山  
山路無衣食  
漸近圖魔主  
飢寒若何忍













くう。少なりとて、何の女に若痛とぬとけ。夜  
し。ふも。こも。せぬ。人なれど。か。つ。め。た。れ。よ。さ。ぬ  
ら。の。あ。の。前。よ。ま。り。り。て。し。お。る。女。と。じ。ま。れ。邪。魅  
の。罪。淺。く。さ。く。の。血。瘡。ま。う。さ。れ。と。い。ふ。ふ。と。り。よ。  
女。の。つ。こ。ぬ。は。わ。ら。ん。と。ま。げ。の。女。の。ゆ。り。た。と。ま。わ。り。  
お。う。ら。ん。の。あ。ら。う。か。の。女。の。た。ま。の。ま。し。ら。れ。た。  
男。の。方。も。し。た。く。い。く。せ。ぶ。な。百。夜。の。い。つ。も。う。男  
と。し。て。命。と。け。年。月。物。も。ご。し。り。た。れ。ひ。て。媒  
を。も。幸。と。り。も。め。男。の。毛。と。め。の。さ。う。り。か。ん。物。云  
と。文。よ。書。く。り。の。の。契。あ。て。ぬ。命。さ。や。う。に。ど。か。ん  
よ。ま。わ。り。せ。れ。せ。も。う。つ。こ。や。ん。又。の。意。い。つ。し。し。ご。う

こ。い。ち。ゆ。ん。あ。く。女。の。こ。ろ。あ。り。お。て。ゆ。た。か。り。い  
れ。お。か。か。ゆ。と。い。わ。り。り。か。り。も。意。治。と。わ。さ。る。お  
わ。り。も。笑。意。見。意。無。意。の。意。逆。意。別。意。年。々  
物。も。ご。し。り。た。れ。せ。と。し。て。契。意。後。祓。の。ご  
か。か。神。の。名。が。び。び。く。や。さ。れ。一。夜。書。の。ひ。よ。い。も。す  
ま。り。何。も。あ。り。人。ぬ。づ。く。は。い。い。づ。か。あ。り。お。り。け  
こ。れ。あ。ま。す。わ。り。も。か。ら。く。強。い。あ。の。貴。賤。老。あ  
ら。う。い。も。わ。り。ぬ。親。と。し。び。た。び。よ。と。れ。き。あ。よ。よ。ま。え  
し。命。と。珍。二。世。と。ら。う。ご。か。の。ゆ。り。た。中。是。皆。あ。せ  
よ。わ。れ。宿。縁。な。り。一。樹。の。び。よ。や。ざ。ら。一。河。の。流。と  
し。ま。り。地。ま。の。こ。ま。ん。と。さ。も。い。は。ぬ。い。づ。か。人。の。ま。ん

つらつらに既して天皇の清涼山の文珠とありは祖  
師とありはさうぞんと女久よありの佛とくれば  
と神みは契じともづの神ありとさうれば大社  
とありはさうぞんの國よまゝとありは大唐巫山の神女と  
朝の雲がたはるありは又漢王の妻とありは朝  
ありはさうぞんは安んじありは又書工の巻とありは  
車泉殿の巻ありは又九花の巻ありは又  
友現香と焼ありは又玄宗皇帝の揚家の妻とありは  
地ありは二子の寵をとりは又長生殿の巻ありは  
よ。天飛多とありは又連理の枝とありは又  
朝とありは又業平の清和天皇天皇長二年しはよ

仁明天皇の御孫阿保親王の御子なり  
仁明天皇の御孫に去日乃糸の勅使として  
ひひれ冠とゆるさる御清をとりは又  
は女見とありは又御清をとりは又  
やありは又御清の菩薩の代理として  
ありは又御清の伊勢御清とありは又  
ありは又御清の二でう右の御清とありは又  
ありは又御清の板鋪の月の頃とありは又  
ありは又御清の月やありは又御清の巻とありは又  
或時とありは又御清の巻とありは又  
ありは又御清の巻とありは又御清の巻とありは又

あまのついでに書かすはらむきり後ひの。はらひいふまじり或は

業平とありしや

妻花院とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

伊勢秋文の女御と。業平にあひあまし。若や

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや

とありしや



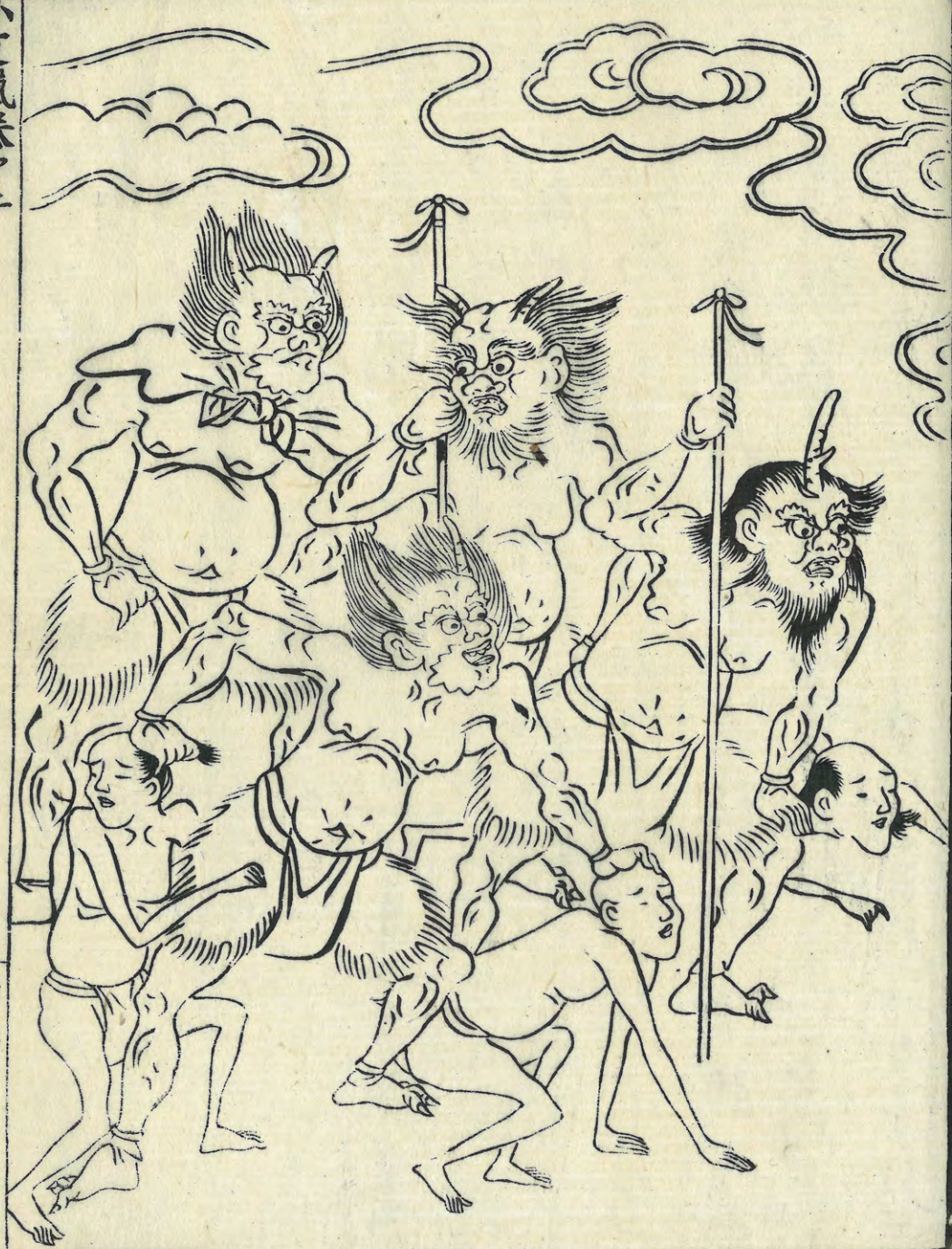




かゝるごとくハカアハカ動搖して點目秤量采  
 どもな自地は任歸しと云れバ規目ハ遠と云  
 罪うして比獄へ落しぬれ遠とハ中罪うして  
 餓鬼道へあげし道分れ遠と云うとして高  
 生道へ進むる業乃秤られたり官王罪人ハ  
 じくひ後げかハ汝が造所乃罪秤目定てあり  
 るべし亡人歎嘆していと云我いま秤よつぐ  
 劣國よ亡人ぞ故て先と伝ぞん刑罰罪人  
 づの秤乃盤乃よよとけハ秤目重々ありそ  
 の時亡人ハ我閉て造悪面よ変と罪人の中  
 世界不双のつづきこのわりて秤よ向先ハ何

ころトハれしんやぐあふ心ん針は志と世  
 竿いぐも點目わさうらあふんそと物らさ  
 かしんささせんうけぢのガレ事いあまじ  
 よせれと云かハあふれうらうらうらとば  
 まげうらうらしてととあそくまらうけやう  
 不心かりし凡わらうらうら吹たあふん遠  
 のこふ乃凡の秤目めく罪科乃秤量はせ先  
 らまんの罪人の方めくは建懸ありぬれや  
 なる有しと云た天下ハ秤やよ者深市らと云  
 りの秤微塵と云うハ凡の吹日ハ掛させび  
 やよ念と云く人遠あふんあふんして今





目ら此風吹よハ中くハカをわむし〜と播雲い  
ひさ

あやむれ天下あぢ穉人

月乃次日ちらふ計口

とひかれ鬼とて守てとて色くあ〜推来者  
ク邪はひちちるりりハ太王の御勅作あ〜  
系も佛作の具穉かれハ世累不双の國室なり。  
淨願祭乃〜業乃ちりりハ二行ハ教々々中ハ  
ハそ〜〜〜〜〜大王〜〜〜〜〜法王冥官俱生我  
ホ〜〜〜〜〜率迄あ〜〜〜〜た〜〜〜〜ぬハ室  
とが乃も〜〜〜〜〜と〜〜〜〜〜た〜〜〜〜〜た〜〜〜〜

あなん〜〜〜〜〜勿神お〜〜〜〜〜あ〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜穉ハカを鬼ハ考計口と〜〜  
〜〜〜〜〜あ〜〜〜〜〜

人あふそあ〜〜〜欲の穉目ハ

これカ鬼人〜〜〜計口

とひかれ鬼とて守て是ハ女〜〜〜〜〜重室ハ  
穉と〜〜〜〜〜急〜〜〜〜〜穉ハカを  
〜〜〜〜〜穉ハカを〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜穉目大方思〜  
重龍の〜〜〜〜〜保〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜穉ハカを〜〜〜〜〜

このわらへ何れもせしやとよとつて奇妙か何物哉  
れらるるこれありせんやのうがれらるるの事には  
のこころわけての一藝あまのわらうわらうとせり  
奇妙よゆりしらく不心後神愛か何物哉とせり  
七八千程覚えしる何物哉のうがれらるるの事には  
才を以てしつゝありとせりとせりといふさういふとせり  
わらうとせりとせりといふさういふとせりといふ  
うらうとせりといふさういふとせりといふとせり  
才子是藝を人の四才かひひかしてとせりといふ  
と丹波の國は有妻と云わたり子れなれとせり  
て後吉大時神よりのりもつ先居美男女二人はれ

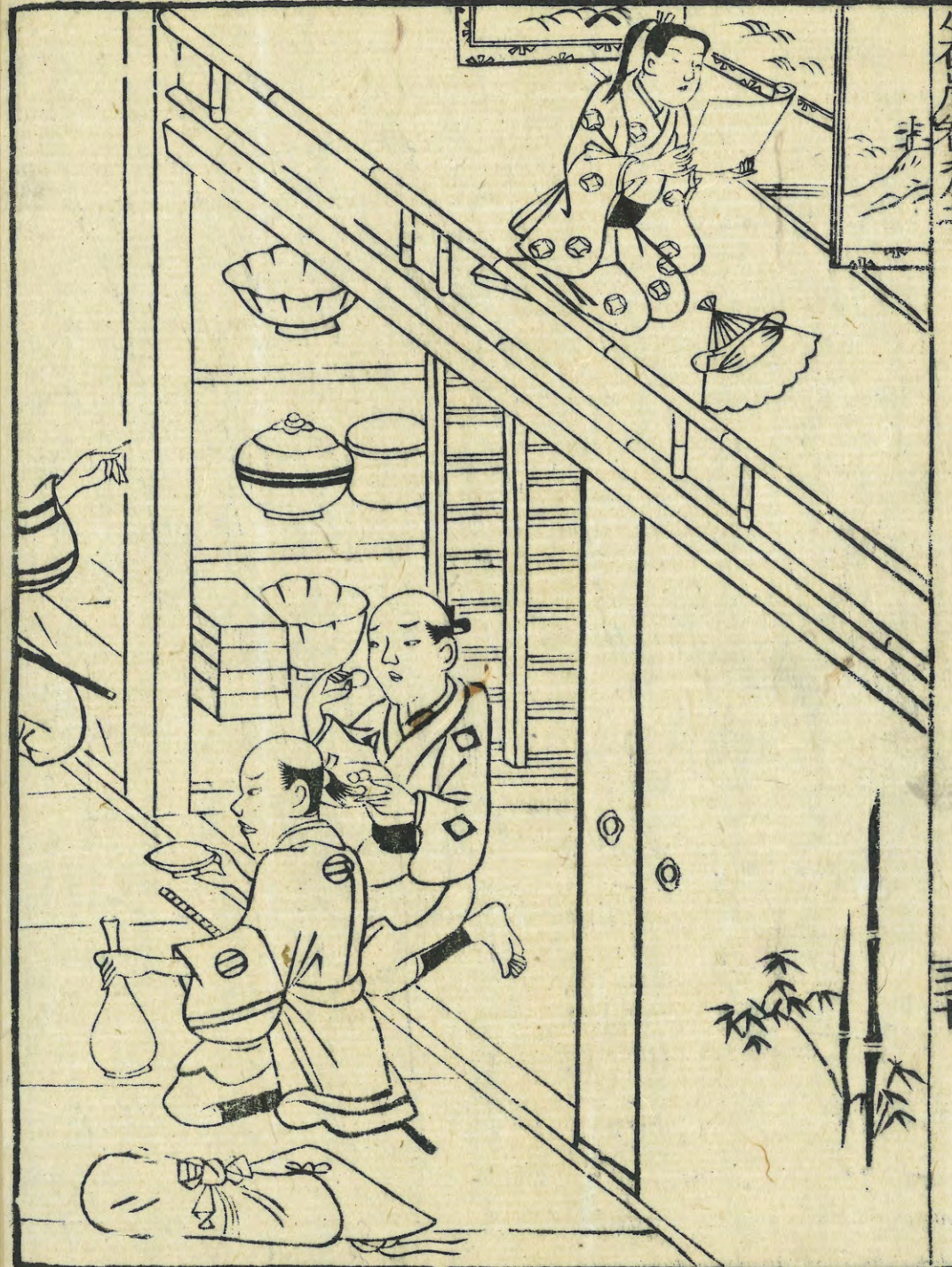
あり見と有師と名付妹と有監と名付兄  
有師は六歳妹の有監は四歳と云時父の有妻は  
此病は依て終は死去せり二人の子母りたり  
歌まわらわれしとほ母一人して二人れいと初  
ふよ何れもせしやとよとつて奇妙か何物哉  
恒者よおれとて書といのりけり七日満月の  
夢也よ有師と母と書といふとせりといふとせり  
司ゆめとせりといふとせりといふとせりといふ  
あつ〇いといふとせりといふとせりといふとせり  
さけしといふとせりといふとせりといふとせり  
幼かれ子といふとせりといふとせりといふとせり





人買中し心子なりとす。信都がけりめいやう  
童の法送乃ものかりし。我才子にむどついで  
商人のいよくか家よにあわははつすべし  
ついでわさうばいしつとあふよへりりいむい  
らん人よとぞれ并かに智者とたまはり。ほよハ都卒  
乃先述免起とりかりしものしるふハ因情堂焼失  
せり。又造立をせり。その時乃依貴乃造寺しり  
免起と結せり。即免起因情堂よといは法鏡  
わろふ。穂前の中しり。和備一通奉り。免起こ  
まといり。一和名と名く。是とよまふよ。又有良母  
考良ハ院善提のしり。又見乃有師今生にわ

ハ免起乃のめあ死なむと。そに同公果よ玉屋  
とまて。年号日付乃下よ施主有監致白と書  
しり。免起のまはと不富よかけり。先り同宿と  
是とたどる。ゆへに伊豆國の由司今ねと京と  
これわり。その中ありとり。キりし時免起對面  
わつとく。がいは名ののり。わつとく。またるり。とに  
ハ父母よわつとく。れまし。事ん。とま。い。と。り。ふ。あ。と  
とふ。ま。づ。と。あ。ふ。そ。れ。し。り。あ。は。眼。を。し。と。免。起。車  
よのつと。山。の。ゆ。り。條。と。玉。の。藥。の。の。い。よ。は。く。あ。と  
あり。たま。ふ。今。生。あ。く。免。起。そ。に。藥。車。ふ。乃。也。  
ほ。せ。ハ。九。名。運。と。な。す。と。へ。ハ。父母。信。果。よ。と。し。る。人。





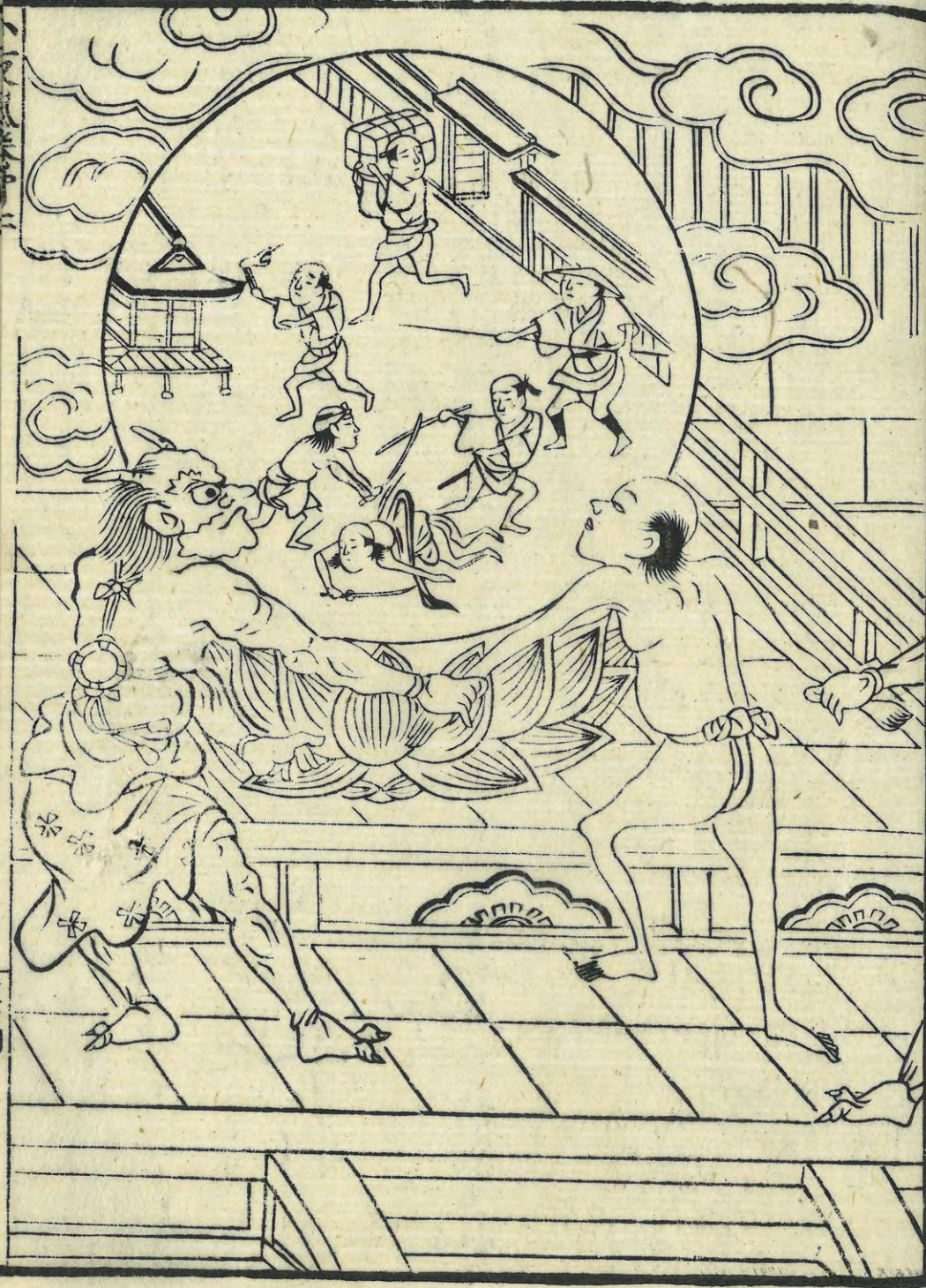


りの伊弉の四何べといふ處乃共かりづ。お家かぞ  
悪黨等よ交り。取よかれを大さか大をのけし  
お大つてろくくけふとかりし

才十 淨頗梨の鏡

まむふくくのつろく。冥途あくとわとれごん。  
意の法師と立大まへは通しての獄卒ごて口入  
鬼が中ふごれ比十八のむりか心獄卒あり。あ  
をれま物煮さうにえくれご心いよと南と下  
しかりひうしりの方事まれしとあつてあ  
りたり。おつてしとていああめしとつりけしは  
ごんあのことろひとろく大がりふのい府を

しやむくかどらぬあまごらとつてのい府を  
いふいあふれとくつ跡よごつてまはるりのとや  
かひいせん終よかあはざりしとかり。ごんあも  
しあやとつてつをり。板圖魔大王の宮館ハ壯嚴  
巍とつて化よ異したちよ檀茶幢あり。ごん人  
頭形と安置に右よ黒闇天女幢たよち山府右  
わりだ鉢の姿よ罪刹よ似て悪業と記し。右  
鉢ハ秋を右祥の如く。右の集てふん  
乃慶後入し悔く心。雙童子くん付。七人  
も前乃身ハ。ハ福若る龍。信業。あま  
ふれともろく。あまはまよ奏與とく大王傳と





つる龜ハキミツリたふむからしとわめし

かくの罪とむくふ後よあくるて

とまゝとらゝる人甲斐ハケル

とついで久人由の山前よあけけるが何事あて

も何ぞある庄乃若患ならくそののれあしとて

此庭よけくごひ中とけるハ通御鏡あまのちやと

おと平素承及ふ所らと向もてまけりてと

傍り目と誓ふのくまやあまねかひのそれ

くハカやこ一條小川とて歎ふ天下一中流小水

と中流をよく此庭ひが京回舎と家くにけし

く何ぞ付室乃くも磨ぬくくさくさ飯をれ

ぐハカやあもて此庭あくハカやあもて

中よ所室乃の境をいひくくもやハ天地開大日

本國と歳天神七代比許入代とあそいさかた乃

ことしらの天照大神後得たるきとあし人皇

代々後傳さるる多し所室よ神靈寶鏡内侍所

これと三種神皇とてももも中よ肉骨和

なるる天照所神のげとらつるもあし

教中ゆかかさあそてまつたまひハ新重とて

めさり稀くといひと事なりんて連は許あてま

まばあゆ一壽あり忽は鼻血より紋入仕あ

かれと来とそれとあてけりまらるる











